



「我慢」と「勇気」

校長 渡邊 満智子

7月場所は、東前頭17枚目の照ノ富士が、関脇・御嶽海を寄り切り、2015年夏場所以来、30場所ぶり2度目の優勝を決めました。

照ノ富士は、5年前の夏場所に初優勝し、「大関」に昇進しました。しかし、その後、両膝のけがや病気などに苦しみ、4場所連続の休場なども経て、「序二段」まで陥落してしまいます。

照ノ富士は、師匠・伊勢ヶ浜親方に、5回も「辞めさせてください」と引退を直訴したそうです。しかし、師匠はその度、「まずは病気とけがを治してからだ。後悔しないように、けがに負けて終わってしまわないように、(やめるのは)やれることを全てやってから。」と諭したそうです。その師匠の後押しもあって、彼は引退を思いとどまり、治療と体づくりを一からはじめたのです。

その後の照ノ富士の生活は、きっと、私たちに想像を絶するような、辛く苦しい日々だったのではないのでしょうか。しかし、彼は、思うようにならない自分に向き合い、受け入れ、それでも、自分をあきらめずに、粘りづよく、一生懸命頑張ったのです。

そして、5年後となる今年、再び優勝しました。彼の復活劇に、日本中が歡喜しました。日本中の誰もが、「序二段」からの大逆転は、ありえないと考えていたのでしょうか。それこそ、「半沢直樹」の「倍返し」以上の痛快さではないのでしょうか。

優勝後のインタビューでは

「(新型コロナ禍の) こういう時期だからこそね、やっぱりいろいろあったから、乗り越えてきた自分だから言えることもあると思う。そういった、みんなに我慢ということを相撲でちょっとずつ伝えていきたいなと思っている。みんなにそういう勇気を与えるような相撲を取っていけば、自分も幸せかなと思っています」と語りました。

彼の、この優勝までの人生は、本当に「我慢」の連続だったと思います。でも、そのきつくて苦しい治療や鍛錬を「我慢」して、粘り強くあきらめなかったことが、彼の「力」となり、「大逆転」を私たちに見せてくれました。「あきらめなければ、大逆転はあり得る」という「勇気」を、私たちに与えてくれたのではないのでしょうか。

<ウイズコロナ時代、学校からのお願い>

岐阜県内での感染者が増加しています。学校内での感染拡大防止のため、以下のことについて、ご理解とご協力をお願いします。

- 1 毎朝検温をし、健康チェックカードの記入をお願いします。
新健康チェックカードを使います。休日も必ず検温をしてください。体調が少しでも良くない場合は、学校へ連絡をしていただき、登校を控えるようにしてください。
- 2 マスク、手洗い、うがいの励行をお願いします。
- 3 ご家族が新型コロナウイルスに感染した場合やPCR検査を受ける場合は、必ず学校への連絡をお願いします。

学校は、保健所・教育委員会・学校医の指導の下、対応をします。ご連絡いただいた個別の検査状況や検査結果等について、学校から口外することはありません。



<https://news.infoseek.co.jp/publisher/nipp>

4 新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見をなくすよう、ご家庭での指導をお願いします。

未知のウイルスに対する「不安」が過剰な排除行動につながり、「差別」を生み出します。差別が怖くて体調不良が言い出せず、結果として感染を拡大させてしまうことも考えられます。

8月の行事予定

~~23日(日) 登校日・PTA奉仕作業(午前)~~ → 11月15日(日) 実施予定
(詳細が決定しましたら連絡します。)

~~25日(火) 6年生修学旅行説明会 19:00～(6年生教室)~~
→ 延期します。日程が決まり次第、連絡させていただきます。

26日(水) 連れ去り防止教室(1～3年生)

*例年、登校日に行っていましたPTAの奉仕活動は、今年度、11月15日(日)の午前中に実施予定です。今後、詳細が決定しましたら、ご連絡します。

9月の行事予定

8日(火) PTA常任委員会 (本部役員会:19:00～、常任委員会:19:30～)

10日(木) 5年生校外研修【大津】 (詳細が決定しましたら連絡します。)

~~19日(土) 運動会~~ → 10月31日(土)に延期

30日(水) 修学旅行事前検診

*9月初旬に行われていました、郡の科学作品展及び社会科課題作品展は、行われません。県の作品展は実施予定です。

10月の行事予定

8日(木)・9日(金) 6年生修学旅行

17日(土) 小中合同リサイクル活動

~~18日(日)・19日(月) 5年生若狭研修~~ → 変更

~~23日(金) 夢の教室(5年生)~~ → 中止

31日(土) ふれあい運動会 → 内容等は、現在検討中です。

NIE

近年、インターネット等の普及により、簡単にニュースを知ることができることもあり、活字離れが問題になっています。NIEとは、「Newspaper In Education」の略称です。日本語では「教育に新聞を」と訳しています。新聞を教材として学校教育に役立てようという取組です。児童生徒の社会への関心を高め、情報を「読み解く」力、「考える」力、問題を「解決する」力を身に付けてもらうことを目的としています。学校教育でも、教材として新聞が位置付き、活字離れという課題の克服、情報活用能力の育成、学力向上等のため、新聞の活用が期待されています。

谷汲小学校では、これまで新聞を活用した授業を行ってきました。今年度は、新型コロナ感染の影響もあり、なかなか実践できていませんが、2学期以降、授業でも取り入れていけないかと検討しています。また、校舎内に「NIEコーナー」があり、さまざま新聞が置かれていて、子供たちも自由に読むことができます。ご家庭でも新聞を読んだり(見たり)、新聞の記事について話題にしたりしていただくとありがたいです。



ミスト設置

7月の「谷汲小だより」でもお知らせしました「ミスト噴霧器」をPTA役員や地域の方のお力をお借りして設置しました。これから、体育、休み時間、運動会の練習後などに利用させていただきたいと思います。設置に関わってくださった皆様、ありがとうございました。

